栃木県におけるインフルエンザ入院サーベイランス　　2026年45週

栃木県では、インフルエンザによる重症患者の把握のため、指定された7ヵ所の医療機関（病床数300以上）を基幹定点医療機関とし、インフルエンザの治療を目的として入院の対象となった事例について、毎週報告を受けています。

（1）入院患者の内訳

	性別内訳		年齢別内訳													合計
	男	女	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	
患者数	16	8	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2	9	7	2	24
ICU入室※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器の利用※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CT※1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
MRI※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳波※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
該当せず※2	15	8	0	1	1	0	0	0	0	2	0	1	9	7	2	23

※1　一部重複あり

※2「該当せず」とは・・・インフルエンザの治療を目的として入院の対象となったが、ICU入室・人工呼吸器装着・急性脳炎の診断に係る検査の実施（CT・MRI・脳波）がなかった事例

（2）インフルエンザ入院報告件数

